



Poco ポコ ゼフィーロ
ZEFIRO

Vol. 9
2018
復活祭号

編集・発行
カトリック
桂教会
広報部

「ご復活、

おめでとうございます。」

京丹ブロック担当司祭 崔 聖煥

復活祭をふ
さわしく迎え
るため、わた
したちはたく
さん準備をし
てきました。
断食、祈り、
ほどこし、犠
牲、十字架の
道行など、復活の喜びをもっと深く感じるため
にいろいろなことに励んできました。いよいよ
復活祭を迎え、「ご復活、おめでとうございま
す。」とお互いにあいさつするでしょう。この
あいさつにどのような気持ちをこめているので
しょうか。

主の復活をおめでとうという言葉を自分とは
関係ないように言えば、それは復活祭の正しい
あいさつではありません。キリストの復活はわ
たしたちの復活とつながっていて、それがまさ
にわたしたちの救いを意味するからです。死に
打ち勝ったその偉大な出来事が、今自分自身に
どんな意味があるのか、これからの自分の生涯
にどんな影響を与えてくれるのか、それを注意
してみるべきです。今までの自分とは違って、
復活されたイエス様とともに自分に与えられた
新しい命の道を歩まなければならないのです。つ



まり、自分の復活も考えて、復活のあいさつを
するのです。だから、「(あなたの)ご復活、
おめでとうございます」と、このような気持ち
をこめてあいさつしたほうがいいのではないか
と思います。

皆さん、復活の朝、マグダラのマリアについ
ていつてみましょう。信じられない三日間、朝
早くお墓に向かい、遺体がなくなつて驚き、復
活されたイエス様と出会った時の喜び。本当に
劇的な流れです。ところで、復活されたイエス
様が彼女に言われたのは「わたしにすがりつく
のはよしなさい。」ということでした。ある意
味でこれが復活の意味ではないかと思ひます。

信仰は過去の素晴らしい経験や思い出に留
まっていることではないです。もちろん今の自
分がいるように
してくれた過去
は大事ですが、
過去のことに執
着するのはよく
ないです。マグ
ダラのマリアは
3年間イエス様
についていつ
て、目撃し、経
験したことがあ
まりにも懐かし
かったのです。
彼女がイエス様
を通してすがり
つこうとしたの





はその懐かしさ、二度と失いたくない気持ち、すなわち過去への執着に過ぎないのです。主の復活の世界に入るためにはこのような気持ちを捨てなければなりません。まったく新しい体験でありますから。

愛する友達である皆さん。復活されたイエス様の声に耳を傾けてみましょう。「わたしは昔のわたしではない。昔のあなたのままでしたら、わたしにふさわしくない。あなたも昔のあなたではないように頑張りなさい。そうすれば復活したわたしを改めて認識することができるし、あなたも復活できる。恐れることはない。わたしはいつもあなたとともにいるから。」

自分の復活を考え、そして皆が復活して、復活されたイエス様に出会ったことを祝って、もう一回言いましょ。

「ご復活、おめでとうございます。」